

## 宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

ミーティング1：キックオフ

令和3（2021）年11月3日（水・祝）13：30～16：30

### テーブル1：公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

00:00 [音楽]

00:09

すみません、みなさんお集まりいただきありがとうございます。

私、宮前区の企画課の伊藤と申します。

本日このテーブル1で、辻さんと浅野さんのプロジェクトの今回のこのテーブルの進行とあと記録を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひします。

先ほど全体の中でプロジェクトの種としてご発表いただいたんですけども、それをもうちょっと深く、そもそもどうやって開催に結びついたかなど、そういった経緯についても辻さんと浅野さんに伺えればと思います。その間、他の参加者の方、お手元に付箋が置いてあるかと思ひます。

そちらにお話をお聞きしながら、皆様が思う、例えば公園でマルシェを開催するときの課題であるとか、あとは辻さんのお話を聞いての気づきであるとか、感想でも辻さんに聞いてみたいことでも構わないので、そういうことありましたら、聞きながらご記入いただひて。

で後ほど、お時間が許す限りにはなってしまうんですけども、こちらで貼って全体で共有させていただければと思ひていますので、そういうふうにつ箋を使っただけいただひたらと思ひます。

それではプロジェクトについてちょっと詳しく内容を聞いていきたいと思います。

先ほど結構詳しくお話いただいたので、結構重複するところもあるかもしれないので、改めてにはなってしまうますが。

今回、公園でマルシェをやる、「拡大まちかどシェア」というテーマでやるということですけど。このマルシェ、何回もやってきたという話があったと思うんですけど、開催の経緯とか、そもそもはどうやってこう「始めよう」というふうになったのでしょうか。

02:06

えっと、宮前まち倶楽部は2012年から活動し始めたんですけども、全く何も町のことを知らずにあのやり始めて、とりあえず、あのまち協の資金支援に永野さんと細谷さんがやっけていらっしやるそこに、町のことを勉強したいんですって言って1年目申し込んで、行ったんですね。

だから本当に何も知らなかった。

で、その時にあの本当にびっくりしたのがさっきも言ひましたけれども、あまりにもたくさんのいろんな活動しての方がいらっしやることにご報告会があるんですね、その資金支援を受けるために。

その報告会のところで皆さんが発表されるのを聞いて、こんなことをやってる方が皆さんいらっしゃるんだっていうことに本当に驚いて、でも私ももう宮前区に20年住んでるのに何一つ知らなかったとか、周りが聞いても誰も知らない。

さっきも言ったけど、なんてもったいないんだろうって思って、まちづくりの勉強をしながら、これが私達の宮前まち倶楽部の方向性だなんていうことをすごく感じました。

私も何も自分自身では何もスキルがないので、あのそういう皆さんの持っているものを見せることができれば、もっと何かできるんじゃないかって思って。

皆さん場がないとおっしゃってたんですね。

で、本当にある日突然、公園だって思ったんですね、本当に。

公園開いてるじゃんって、公園でやればみんな使ったらいいのになってすごく思ったんです。

あ、公園誰も使ってないと思って、それでも公園どうやって使ったらいいんだろうっていうのが全然わからなくて。

それであのいろんな方に聞いたら公園はあの使えないよって、普通の市民とかは使えないよって言われたんですね。

そしたら、公園使いたいけどって思って、なんですか、公園ごめんなさい、道路公園センターそうですね、道路公園センターに行ったんですね。

そしたら道路公園センターには公共的な意味合いを持ったものでないと使えないし、その町会の方とちゃんと町会の方が今管理してくださっているの、っていうことをお聞きして。

それでたまたま小口さんとその前にちょっとほんとお知り合いになったので、小口さんをお願いして町会の方のところにお話しに行ったんですね。

そしたら町会の方が使えないよっておっしゃったので、あ、じゃあ使えないのかと思って。

それで、そこでへこたれることなくですね、そしたら本当にタイミングよく今谷さんのお勤めになっているあの市民館で、公園を使ってコミュニティづくりっていう講座がそのときあったんですね。

たまたまそれを知ってすぐそこに行きまして、そしていろいろその公園を使ったコミュニティづくりのまあ、何回ぐらいでしたかね、やり、出まして。

それでその担当の市民館の担当の方に公園を使いたいんですって言ったら、ちょっとちらっと言ってあげようかって言ってくださって。

こんなことここで言っているのかどうかわからないんですけども、ちらっと道路公園センターに言ってくださったんです。

それをちらっと言ってくださったただけなんですけれども、あの道路公園センターに行ったら、公共的な活動ですって言ってくださって、それで何かできることになったんですね。

そういうなんか本当にすみません、なんか全然なんか本当に。

そういうことで、おちば公園を初めて使わせていただくことができたのが、2018年の5月だったんですね。

それで、そのときに私、全然町会のことも知らなくて、小口さんぐらいしか知らなくて。

で、町会の方に断られたので、あまり町会の方にやったってことを言わない方がいいのかなってちょっと思ってたんですね。

でも一緒のチームの中で、町会っていうのは招待状を持って、「今度やりますのでぜひおいでください」って

町会長さんが言うもんだよって言ったんですけど。私が、そんなこと必要ないんじゃないのって言ってやらなかったんですけども。

そういうことをちゃんとやっとけば、こんな3年もかからなかったのかな。

それで、もういっぺん道路公園センターが許可をしてくださったので、その後、それで公共的なものっていうのだと、公園は無料なんです、使うのが。

それでそうじゃない場合は、1000円です、1日借りて。

あ、それは大きさによるのかな。

私が借りているおちば公園というのは街区公園って言って、すごく小さな公園なんですけれども。

それで、それ以降はその1000円をお支払いして、お借りしています。

その後、公園で2回やって、全部で3回2018年に。あれ、2017年の10月か1回目か。で2018年2回やったんですけども、そのときにあの町会の方たちといろいろお話するようになって。

こんなとんどん話しちゃっていいんですか。

07:27

大丈夫です。

07:28

すいません。

やっぱり町会のことを、と関わらずにやっちゃいけないって思うようになりました。

それは何でかっていうと、あの町会の方は本当にあの清掃とかやってくださってるし、木の剪定とかも子どもたちに危なくないようにとか、本当に管理してくださってるんですね。

そういうことをあの知らないままに、私達から使いたいからって言って、私達なりのその意義はあるんですけども、駄目だと思って、その後やらなくなったんです。

その代わりに町会の活動にいろいろ私は参加することにして、小口さんね、いつも呼んでいただいて町会の清掃とかいろんなことにもう本当に顔出させていただいて、町会の方とすごくよく知り合うようになって、それで町会の方も、あ、前は宮前まち倶楽部って言ったら何者っていうか、なんかそんな聞いたこともないような人たちに、だいたい公園貸せないってのも当たり前だと今になったら思うんですけども。

今は町会の方も宮前まち倶楽部の辻っていうと、なんか変な奴みたいな感じだけれども、ちゃんとわかってくださって。

今回その経緯を見てくださっていた地域振興課の方も町会の方にお話して下さったりとか、いろんなやっぱり支援して下さる方。

小口さんも何度も町会の上の方とか役員の方にお話をしてくださって、皆さんの支援を受けて、本当は去年の12月に正式に町会とまち倶楽部が、公園清掃の後の小さな本当に小さなマルシェをやることになったんですけども、コロナで延期になりました。

で今年12月にやっとやれるっていう感じなんですけれども、あの町会の方はあの皆さんすごくもう役員の方もご高齢の方も多くて、あの今はすごくたくさんご自身、皆さん担当を持ってらっしゃって大変なので、一応町会とは共催なんだけれども、まち倶楽部が全部やるということになっておりますので、皆様のご協力をぜひ

お願いできればと思います。

それで私達の本当に目指すところは、1ヶ所の公園でやるんじゃなくて、この小さな公園で宮前区ってすごくたくさんあるんですね。

調査によると、宮前区の各市民の500m圏内に必ず一つ公園があるんですね。

それぐらい公園ってすごく宮前区で数があるので、その小さな公園でその近所の方が集まってこういうことをやれると、そのさっきの3丁目の方もおっしゃってましたけれども、3丁目のそこでやれると、その本当に顔の見える範囲であのやれるのが一番いいなと思っていて。

そのノウハウややり方も何かちゃんとまとめて、誰でも公園でやろうと思えばできるよみたいな、こうやっていいんだよってというような、あのノウハウブックとかもつくりたいと思っていて。

それもぜひ皆様のご協力を得たいと。

なんかそういうさっきも言いましたけれどもいつもやりっぱなしなので、きちんとそういう形で残していけたらというふうに思っています。

いろいろやってできるのが嬉しくて、ちょっと、すいません。

ただ12月は寒いので、皆さん暖かい格好してくださいね、とか言ってもう皆さんが来てくださる前提で話している。

ホッカイロは大量に用意します。

11:10

ありがとうございます。

最終的にこう、公園のマルシェを通じてやりたいこととか実現したいことというのは。

11:19

一番実現したいことは、その公園の周りの徒歩圏内ぐらいに本当は自転車で行けるぐらいの圏内にある資源を全部こうやって可視化したいっていうのです。

だからそこに住んで、例えばお母さんたちでいろんなスキルを持ってる方とか、細谷さんとかがガーデニングクラブやってらっしゃる宮崎台駅前でもやってらっしゃるところも本当すぐ近くの公園なんですけれども。ガーデニングクラブとか、いろんなその本当に歩いて行ける距離内、まじわーるのことも本当に近く、近いし、みのり会の方の絵も本当にすばらしいものとかありますよね。

ああいうものを皆知らないで、それを公園で可視化したいと思っています。

だから普通のマルシェだとお客さんが来てくれないと寂しいと思うと思うんですけども、それは誰も、来てくれないと困るんですけども、もし来なくても、その資源もみんな持ち寄った私達ですごくいろんな話ができるだけでも、すごくいいなっていうふうに思っていて、前回5月にやったときもあまりにも暑くて、誰も来られなかったんですね。

でもそのときは出てくれるプレーヤーの方とか、まち倶楽部とかでみんなずっと一日中いろんな話をしてたんですね。

それだけでも楽しかったなっていうか、そういう資源の可視化をするっていう、そしてその資源を可視化したものを、また関わっていない住民の方が見て、何かこの地域楽しいなって。

ここに住んでたら楽しいかもって思ってくださいるとすごく嬉しいなっていう。

それがしたいことです。

12:58

はい、ありがとうございます。

さっきの実現したいこととかの裏返しにもなってくるかもしれないですけど、解決したいって思ってる地域の課題ってというのは。

13:10

資源があるのに見えてないってことですね。

今回のマルシェで、準備とか開催で、困っていることというのは実際どんなことがありますか。

13:42

具体的にえっと、マルシェのときっていつも手作り品を作ってくださいのお母さんたちがいらっしゃるんですけども。

その方たちが、できればその花の台町内会の方たちに出ていただこうと思っているんですけども。

実はもうワークショップを開催されることが決まってい出られないということなんですね。

それで、そういう出られないので、でもあの自分たちの作ったものはもちろん提供しますよって言っているんで、そういうものを販売するっていうか、そういうスタッフも必要になってきているし。

それからもし田浪さんがいらっしゃるんで、若いお母さんたちでそういうの、どなたか作れる方知ってるかな。

13:38

プレーヤーとか。

13:39

あ、プレーヤーですね。

あの若くなくても別に。

あのどなたか知ってらっしゃるかなとかちょっと思ってお聞きしたいなと思ったんですけど。

皆さんのご存知の方、皆さんの中でも何か作ってらっしゃる方とか、なんかクリスマスマルシェ、クリスマスマーケットみたいにして、あのおちば公園は割と小さなお子さんを連れのお母さんたち、お父さんたちがたくさん来られる公園なんですね。

まあ駅から近いのもありますし、その方たちに、何かちょっと楽しい場所だなとか何か自分たち何度も言ってますけれども、こういうまちでこんなことやってると楽しいなって、で、いつかその方たちがプラットフォームの方に入ってくださいような流れになればいいなと思っています。

そういう誰かプレイヤーの方を知ってる方はぜひご紹介いただければなって今ちょっと思っているのと。

あとはその、さっきも何度も言ってますけれども、マルシェの開催はできるんだけれども、もっとこういうことはちゃんと書き残した方がいいねとか、もっとこういうことって記録にしたり、記録をしておいた方がいいねとか、きっと皆さんすごくもう長い間活動されているので、そういうことをご存知なんじゃないかなと思うので、そういうことを教えていただきたいというか。

あと写真を誰か撮ってくださるとか。

そういう開催のノウハウとかを、さっきもハンドブックみたいな作りたいと思いますけれども、そういうものを今後使えるような、そういったものを一緒にやってくださる方がいたら嬉しいな。

何かアンケートとかもやりたいと思いながら全然できないので、アンケートとかもやりたいなと思ったり、そういうことをぜひ。

人がいないっていうのが困っていることです。

16:31

あの、写真、もし私でよろしかったら撮りますよ。

16:37

あ、ぜひお願いします。

16:40

町会でやってた、小さいカメラですけど、それでよかったら。

16:45

よろしくお願いします。

16:47

それともう一つよろしいですか。

今お話にあった、要するに、せっかくやったんだから中身を少しずつ充実させていくってのは、いきなりはいかないし、まあ少しずつ充実させていけばいいと思うんですけど。

まあやったら人集めのことをどう考えてらっしゃるんですか。

人来なくてもいいよみたいに聞こえましたけど、やっぱし人をどうやって集めるかっていうこと。

もし町会とあれするんでしたら町会の掲示板がありますから、町会で花の台に広報掲示板が17枚あるんですよ、あっちこっちに。

全部やっても、遠くの方は先ほどのお話で、あんまり意味がないようでしたら。

あの周りのところですね、ああいうところにあの、ポスターを貼ったらどうかなと思いますけど。

じゃあどうやってポスター黙ってたって町会の人、作ってくれるかどうかわかりませんから。

それをやっぱし作って。

18:00

浅野さんが既に、ちょっと今作ってくれていまして、掲示板にぜひ貼っていただきたくて。

18:09

それはもう全部作っちゃったんですか。

18:11

まだ今下書きというか、案です。

18:14

そういうやつあのデザインはちょっと私わかりませんが、もう一回り大きい方がいいですよ。

18:21

大きいのでいいんですか。

大きいの貼っていただけるんですか、嬉しい。

18:27

A3 がポスターですからね。

それで町会のほうに花の会町会の事務局に持ってって、あのこの地域の近いところ、こことこって辺りに貼って欲しいってお願いすれば。

花の台町会は広いですから。

18:48

そうですねだから、向こうの宮前平の駅の周辺で貼っても意味ないから。

こっちの側の方に、あのはい。

18:58

あの、さっきあの人が来なくてもと言ったのは、来なくてがっかりするのが嫌だからそう思ってるだけで、本当はもちろんたくさんの方に来ていただきたくて。

いつもはチラシを作って、それであの、ポストって今できないんですね。

あれやっちゃいけないので。

だから駅前でちょっと配ったりとか、あとはもう本当に顔見知りの方に、もう全部口コミで、言うぐらいですね。

19:30

だからそこまでやってくれかどうか、あの普通よく回覧板に載ってるじゃないですか。

19:36

あー、もうそれは多分やらしてもらえない。

19:38

できるかどうか、こっち側だけね。

それとか、マンションの、大きなマンションって掲示板がありますよね。

ああいうところに行って貼ってもらおうとか。

19:51

今回はあの町会との共催なので多分、すごく可能性はあるかなって思って。

20:00

そのへん突っ込んだ方がいいね。

20:04

そういう町会の知恵を教えて欲しいんです。

明日突っ込みます。

20:11

若い人を呼びたいならば、子ども会とか PTA とか誘いましたか。

一緒に入れて、子ども会なんか遊び場を作ってもらえばいいんですよ。

20:22

子ども会って町会の遊び場、町会の子ども会。

20:24

子ども会は町会から独立してますよね。

ただ町会から紹介してもらいますよ。

それから花の台は青少年指導員とかスポーツ推進委員が一生懸命やってる地域なんで、その辺に声かけると、運営の方も手伝ってくれますよ。

遊び場なんかの運営は全部そっちの子ども会や青少年指導員になんかに任せちゃえば。

20:46

なんか町会の方から絶対俺たちに仕事を振るなってすごく強く言われてて。

20:51

子ども会とか PTA の若い元気のある人たちに。

20:55

PTA はそっか、そうだね。

21:00

声かけ、PTA なんかも、本当に社会参加の初めての段階なんだけど、若いお母さん方がね、子育てしながら自分も何か発表したいと思う人がいるわけですよ。

PTA の役員の方に声かけると、絶対ありますよ。

21:16

あと、Facebook の宮前、なんだっけ。

21:19

ふらっと宮前

21 : 20

ふらっと宮前でしたっけ、あれはすごい 4,500 人、ですよ。

21:24

あれは見てくれるね。

21:26

あれはすごいですよね。

ただあんまり広告して、さくら祭りじゃないけど、ズラーって人が来たらどうする。

21:39

うまいこと取りまとめできるかが、ちょっと不安です。

21:42

やっぱり一応コロナなので、あんまり人が密になると、またそれはマイナスになるかもしれないので、そこら辺をちょっと考えながら。

はい、ありがとうございます。

21:54

ありがとうございます。

かなり、後半の話題もかなり出していただいて、手作り品を販売するプレイヤーが欲しいとか、写真を撮ってくれる人も居たらいいなとか、アンケートも取ってくれる人が居たらいいな。

あとはノウハウのブックとかも、まあゆくゆくあればいいなっていうところで。

でもう、それに協力できることとしてあげられたのが、写真なら撮れる、協力できるよってことだとか。

まあ掲示板の活用、進んでるといことでポスターも貼れますよ。

町内会、町会に相談するとか、子ども会、PTA にも相談して、まあ声かけて、可能性としていいのではないかとか。

情報発信としては、Facebook に載せるのも、人集めとしてはいいんじゃないかというご意見が今出ております。

他にこういうことだったら協力できるとか、あるいは協力できる人知っているとか。

どうぞ。

22:53

私はその、ノウハウブックに関してっていうか、あのえっと教育プログラムのプラットフォームのボランティアをやっていたので、今の話を聞いていて、ちょっと思ったのは、まずはその、いきなり大きくなってしまって、今コロナの時期っていうのもあるので今の話を聞いてる限りだと、多分その花の台っていう場所でその中で、充実させていくっていうことをメインでやって。

それで今回、それをやったその順番とか機序とか、私さっき聞いてた時に、実はこう書いてて。

宮前まち倶楽部から始まって道路公園センターに行って、町会に行って、それが市民館の人にあれしてっていう、その流れをちょっとこう書いてたんですね。

そうすると、どのように開催させていったのかとか、誰と会ってどういう会話をしたのかとか、流れをちゃんと記録していつて。

最終的に、チェックリストみたいな感じで、その公園を使ってそれをやる場合には、こういう順番で誰と会話をして、誰とやるか、というようにすると話が通りやすいというのを、チェックリストみたいなものをつくって。

そうすると、今回花の台はこういう例でした、みたいになったら、そしたら例えば今度は鷺沼だったら、ここを使うときにはこういう様な人たちに会話ができる、みたいな、チェックリスト的なものをつくっておくと、宮前の中で、有馬だったら有馬でとか。

野川だったら野川でとかにして、それを活用できる様な、そういう、こう、そういうものを作るというようにしておくと、やりやすいと思います。

24:40

それつくりたいと思います。

24:45

そのノウハウ的なものでしたら、協力はできると思います。

24:49

そういうのは、作ったことっていうか、ご経験があるんですか。

24:54

そうですね。一応教育プログラムの会社で、イベントをやるときの、スーパーバイザーっていうのを10年ぐらいやっていたので、それであのそういうのをやるときの誰と会話をしてどういうふうにするかっていうのをやった人たちのを全部書いて。

じゃあ次はこういうふうにした方がもっと効果的だねみたいな。

で、やった後に必ず、反省会っていう言い方しないんですけど、デブリーフィングとって、何が効果的だったか、今回やって、何が効果的で、何が効果的でなかったかを、全部洗い出して。

次に違いがつかれるとしたらどんなことが可能なのか、ということを書き出して。

そうすると、じゃあ次はこういうふうにやったら効果的だね、っていうのをまた作って。

そこからまた次にやるときには、それを元にして、それも完璧ってのはあり得ないので、じゃそれを使って、次はもっと違いをつくったらいいい、こういうふうなことをやるときにこうしようというものがつくっていくと可能なので、そのようにやるといいと思います。

次に活かせるような。

で、後、他の人たちが見て、参照できて、他のところの地域でもやれるような、そういうまさにプラットフォームの型みたいなものをざっくりつくっていく、みたいな。

26:25

あの、公園には必ず運営協会ないしは、愛護会がありますもんね。

町会がなったり。

まあだけど、そのほとんどその会議自体が機能してないんだよね。

ただ一応あるから、そうするとそこがどんなメンバーが使ってるかがわかる。

26:45

なんかうちの公園も管理運営協議会ができていて、それを町会の方が、町会がなっていっしょるので、それであの町会の方に話しにいったんですけど。

町会の方はそれになってることを知らなかったみたいです。

でも一応管理運営協議会町会の方でした。

27:02

でそこへ行けば、どんなメンバーが使っているか、特にあの大きな公園は子ども会が野球やったり、ソフトボールやったり、するから、普段使ってる人たちに、やっぱり一言は断わんなきゃいけないね。

老人会の何かやったりとか、で、そうでなければ、その公園を使ってる人をメンバーに入れて、道路公園センターに申請すれば何でもできますよ。

公園法でやっちゃいけないことは火を使っちゃいけないとか、木を切っちゃいけないとか、穴掘っちゃいけないとかあるけれども、区民会議で冒険遊び場のあれもつくってね。

あの宮前区の旗を立てればいいんだということになっている。

冒険遊び場はいいんですよ、ちゃんと区で旗を貸してくれるし。

冒険遊び場の指定をしなきゃいけないんだけどね。

27:58

ただでも、マルシェをするのに手作り品とか販売するグループからは、あの金銭を徴収するんですか。

28:07

しないです。

28:09

そうすると、ポスターとかの発行するための費用とかはどうするんですか。

28:15

あとそれは、私達が考えたまちかど基金っていうのをやっぴいまして、出店料をマルシェにいっぴい出てる方とかによく聞くと、出店料を払って1区画を1日借りるっていうか、それをやったら自分の区画は自分だけ、他は関係ないっていう何か自分は単なるそこに出してるお店になっちゃうんですね。

私達はそうじゃなくて、その場をみんなが作ってるっていう、だから自分もその中の何かプラットフォームの1人だみたいな、プレイヤーなんですけども、っていう意識を持ってもらった方がいいと思って。

その1区画を自分が今日1日借りてる人、っていうふうな意識で参加してもらおうと、あまり私達の意図することと違うかなと思ってるので、思ったので、出店料は一切もうゼロなんですね。

ただし、もしそこで利益が上がった人がいると、利益の上がない人もいっぴいいるんです。

ただ読み聞かせやったりとかっていう方も来てくださるので。

利益が上がった方は1円でも、全額でも、とにかく寄付してくださいって言うてるんです。

それでまちかど基金っていうのをつくって、そのまちかど基金で、チラシ代とかを、次の会のチラシ代とかを出してます。

で、まちかど基金にはだいたい1割とか2割とか出してくださいの方もいらっしやったり、ちょっとシニアの、シニアで小物とかやっぴいくださってる方だともう全額寄付してくださいったりとか。

今考えてるのは、なんか他の方にも言われたんですけども、そのやる場所にもまちかど基金のなんかかわいい貯金箱みたいな置いといて、何か来てくださった方にも、もう本当5円でも10円でも、なんかそういうのもやっぴいじゃないかなっていうふうに。

だからみんなで作ってる場所、お金もみんなで出し合ってるよねっていう形で、やりたいなというふうに思っているの。

はい、そうやって出店料は取らずにやっぴいます。

30:12

ありがとうございます。

ぼちぼちもう時間も迫ってきているので、まだ、発言されていない方とかいかがでしょうか。

30:19

あ、私ちょっといいですか。

あの実際の、実務というとな変ですけど、当日に必要な助けと、さっき言ったノウハウブックがあればいい。

当日じゃないんだけど、当日やっぴいことと、さきほどおっぴいように、ノウハウブックの源となる何かをやっぴいかなきゃいけないことがあるなら、当日やらなきゃいけないリストの中に追加した方がいいのかなって思ったのと。

もう一つ、写真撮って、写真を撮る方が必要だっていうのもありますけども、当日ふらっと来られた方が、今日何やっぴいしてるんだろう、っていう人が結構いらっぴいするんですね。

そのときにちょっと、こうさりげなく、今日ねこういうことやっぴいしてるんですよって言って、案内と言うと大げさなんですけども、ちょっと声をかけてあげると、そのままこういう公園から引き返さずに、入っぴいきやすいかなっていうのもあっぴい。

声がけしてくださる方とか、その場でどんな会話が聞こえてきたとか、どんな人が来てたかっぴいっていうのもなん

となく、それで後々考えると大事なことだったんですけども。

私達とにかく今まで、やることに追われて振り返るとそういう言葉を聞く余裕がなかったのも、もうちょっと余裕を持って、そういう会話からヒントを得るようなこともできたらいいなと。

今回、こういう場をいただけたので、望んでます。

31:47

そういう、まあ当日の会場で、まあ声かけをして案内をしてくれる人とか。

31:52

具体的にはそうですね。

と、特に何もなくて、これ言ってくださるだけでも、こんな会話があったよとか、ここで読み聞かせしてる時に、親子で何か、こんなように楽しく過ごされてたとか、やったことによってどういうことが起きていたかっていうのを静かに観察してくださる方がいるといいなと思って。

32:13

本当にね、そういう外部的な目で全体を見てくださいますかとか。

32:21

それは、ハコの大きさとか、会場の大きさ、公園の大きさによって、そういうのって見る事ができて。

まず、その、公園の大きさがどれくらいで、それから後どういうふうなコンテンツの、誰がどこに、どのような設置をするかっていうのとか。

まずやっぱりその設置のプランを立てて、そこにエリアスーパーバイザーっていう、それはだから、例えばお子さんがたくさんいらっしたり、その PTA の会員だったりとか、そういうお子さん系の人たちに強い人たちは、じゃあこのエリアで、として。

じゃあ、ここにエリア責任者じゃないですけど、そういう人が、要はそのエリアの支配人みたいな感じの、そういう人がそこに居てくれると。

そうすると1人じゃなくて、2人ぐらいがついていただいて、そうするとそこで起きたことが何が起きてたかとか、そういうのを後からフィードバックをもらえたりというふうに。

本当にそのエリアごとにスーパーバイザーの人たちを、頼んでおいたりとか、それから入り口にアッシングとってアッシャーという人がいるんですけども、入り口から入ってくる人に、どんな人が入って来たかなとか見たり。

それから、こんにちとは声をかけて、今ここでこういうことをやっているんですけども、よかったらご覧になってください、のようにただ声をかけるだけの人とか。

33:43

アッシャー？

33:45

アッシャーっていう、英語だったと思うんですけど。

入り口、入り口にそのような人をつけて、まずその、あれができると、配置をする人がどういう人が必要かとか、何人必要かとか、見えてくるので、そのときに、頼んでみるというふうで。

必ずしも、全部充実しなくても、ポイントは、地域の資源の可視化なので、だからそういうことやってくれるだけでもいいんだけどって、やってくれないと言うと、そういうのだけでも参加できるんだ、とか。

そういうことやってるんだ、というのが皆に広まるのがポイントだとしたら、そんなもんでいいと私は思うので、まずはその、公園、どこの公園とかが決まって、コンテンツが何かと決まったら、そのエリアを決めてって、どういうふうにお子さんの、その、さっきのなんだっけ、旗を立てて、それを作るだと、どこの場所にそれがあると、皆が安全に楽しめるかとか。

何かそういう場の計画みたいなものを立てておくと、やりやすいというのはありますね。

34:58

なるほど、ありがとうございます。

そしたら、まだまあいろんな議論はあるかと思いますが、そろそろお時間でして、今後ですけれども、12月5日に実際におちば公園でマルシェをやるという流れにありますけれども。

その前に、1回またこのせっかく集まっていたいただいた、せっかくの機会のメンバーですので、また開催に向けて、打ち合わせというか、ミーティング2あたるものを、日程調整させていただきたいと思います。

一応一旦仮で、11月18日の午後1時から午後3時までで、次の打ち合わせをやるという形で。

場所はいかががでしょうか。

35:45

そうですね、伊藤さんをお願いします。

人数が多いので。

公園でもいいかなと思ったんですけど、寒いので。

35:59

区役所の会議室でちょっと確認しておきます。

36:07

お天気が5日ダメだと、12日、翌週の日曜日に決まっています。

36:19

マルシェのイベントがでしょうか。

36:20

はい。

朝、清掃をやって、公園清掃が9時からあるので、そのあと、11時くらいから、天気が寒いので、あんまりと

思って、14 時くらい、人がいっぱいいたら 15 時くらいとか、その日の天気なんですけども。  
だから 10 時くらいから設営を始めて、11 時くらいからやって、お昼を挟んで、14 時か 15 時くらいまでと  
っています。

クリスマスっぽく、デコレーションとかもやって、バルーンアートとかもやりたいなと思っていて、飾り付け  
得意な方もぜひ。

37:00

楽しくできるといいですね。

ではこちらで、一旦付箋を回収しまして。

37:05

すみません、全然イメージがわからないんですけど。

参加者はどういう風な、だれでも、ただ公園に遊びに来るのがマルシェなんですか？

なんの申し込みはいらないです。

お祭りに行くみたいな感じ。

37:28

すみません、一旦こちらのテーブルは今日は終わりにしまして、次回の日時とか場所とかはみなさんにメール  
でお送りしますので。

皆さん付箋に今日書いていただいたことについても、次の機会にまた共有の場を作りたいと思っていますので、  
本日のところはこちらで、終わりになります。

ありがとうございました、よろしくお願ひします

37:49

食べ物はどうするんですか。

例えば、焼きそばとか。

37:54

もう一切、コロナだから、食べ物はダメというふうに言われています。

で、飲み物も、コーヒーとか、と思ったんですけども、それもダメと言われている。

缶コーヒーをやろうと思っています。

それで、向丘出張所に缶コーヒーウォーマーがあるんですね、それをお借りすることになっているのと。

あともし、皆さんタープを持っている方とかいらっしゃいますか。

テントみたいな、タープ。

38:29 [音楽]